

科 目 名	SS 研究 I	理数科必修 1年次・1単位
目 標	地域巡検を通して科学的手法の基礎を身につけるとともに、地域の自然環境について考えを深めることで課題を見出す。その成果をレポートやプレゼンテーションにまとめて発表することで、科学的に表現する方法を身につけるとともに自然科学の特徴を理解する。	
位 置 づ け	地域の自然や旭山動物園でのフィールドワークを通して自然観察等の手法を学び、自然環境や身近な現象に目を向ける。観察の結果と考察についてグループディスカッションを行い、プレゼンテーションを作成し発表する。「探究基礎」と連動させて課題研究のテーマを設定し、研究計画を作成する。	

■使用する教材 ・自作プリント ほか	■学習する単元とおおよその時期 ・地域巡検 I 【4～5月】 ・地域巡検 II 【7～8月】 ・理数科課題研究中間報告会【7月】 ・プレゼンテーション演習【9～10月】 ・課題研究テーマ設定・研究計画作成【1～3月】
■授業の流れ、予習・復習を含めた学習方法 地域巡検 I・II は、実施時期に集中して授業を行う。レポートやプレゼンテーションの作成など、授業時間だけでなく家庭学習課題となることがある。	

■観点別評価について

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価基準	A フィールドワークや実験観察において、説明内容だけでなく自身の視点から写真や図、データを詳細に記録することができる。課題について情報を収集し分析することにより、正しい現状把握ができる。	フィールドワークや実験観察において、観察の目的が明確であり、その特徴をわかりやすく示すことができる。収集した情報やデータを分析し、深く考察されており新たな課題を見出している。	チームの活動計画を立て適切に運営し、自らが果たすべき役割を見出し貢献することができる。異文化や多様性を理解し、マナー・モラルをもって目標達成に向けて粘り強く挑戦することができる。
	B フィールドワークや実験観察において、説明内容や自身の見方・考え方等を記録することができる。課題について情報を収集し分析することができる。	フィールドワークや実験観察において、観察の目的が明確であり、その特徴を示すことができる。収集した情報やデータを分析し、考察されている。	チームの活動計画を立て、自ら貢献することができる。異文化や多様性を理解しようとし、マナー・モラルを守り目標達成に向けて挑戦することができる。
	C 上記が達成できていない	上記が達成できていない	上記が達成できていない
評価の場面	活動状況・レポートやスライド等の成果物・発表	活動状況・レポートやスライド等の成果物・発表	活動状況・レポートやスライド等の成果物・発表